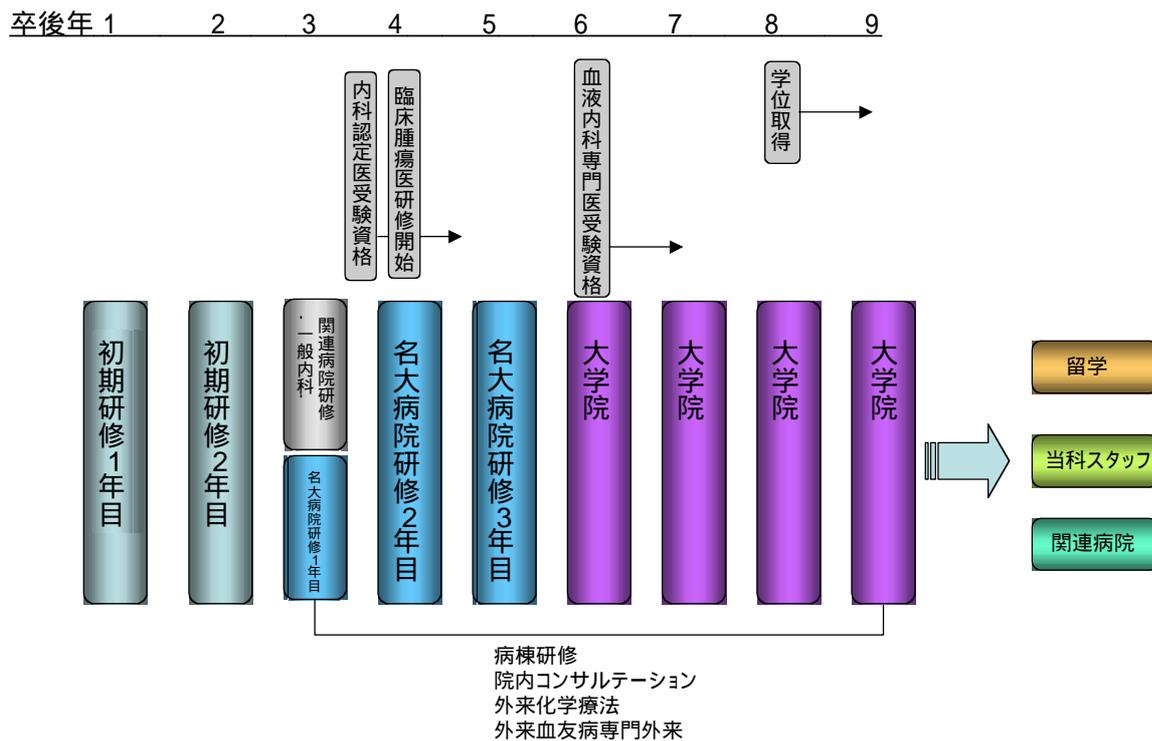


コースの概要

(1) コースの全体像

東海地区の特色として、血液内科を有する中規模以上の診療施設に於いては、名大血液内科のみならず、藤田保健衛生大学 血液・化学療法科、名古屋市立大学血液内科をはじめとした他大学と相互に人事交流を行っており、各大学の卒業者が他大学の得意とする診療技術を学びやすい環境にある。コースの前半では、入院患者の受持医として各疾患を担当する一方で、化学療法とその支持療法や感染症をはじめとする合併症対策についての専門的知識・技能の習得を目的とした研修を行い、これらを通じて日本血液学会血液専門医研修カリキュラム内容を満遍なく網羅することが出来る。コース後半では大学院における学位取得を優先しつつ、将来のTRを担う人材を育成する

大学病院後期研修による血液専門医養成コース



(2) コースの概要

コース名：大学病院後期研修による血液専門医養成コース						
初期研修病院より大学病院後期研修医となり、大学病院の高度医療の研修を先行して行う。引き続き関連施設スタッフとして養成の後半過程を過ごす						
大学病院・ 医療機関名	診療科名	専門分野名	指導者 数	目的	養成(受 入)人数	期間

名大附属病院	血液内科	血液・腫瘍内科学	5名	血液疾患専門医の育成	2-4名	7-9年間
藤田保健衛生大学病院	血液・腫瘍内科学	血液・腫瘍内科学	8名	血液疾患専門医の育成	1-2名	7-9年間
				受入人数	2-4名	

(3) コースの実績

名大病院血液内科関連施設は愛知県を中心に30以上を数え、過去30年間以上当科の人材はこれらの施設で育成された人材が中心である。また現在名大グループが得意とする多剤併用化学療法、造血幹細胞移植技術はまず関連施設において発展し、出身者により大学病院で磨き上げられたものが多い。また他大学、なかでも藤田保健衛生大学出身者の一部は名大関連病院にて、研修を行い多くは両大学に於いて活躍中である。

(4) コースの指導状況

例えば名大サーバ内に開設されている「東海血液疾患メーリングリスト」には若手を中心に100名を超える参加者があり活発な議論が展開されている。また「名古屋BMTグループ」は月1回の例会を通じて難治症例についての情報交換を行っており、4大学関係者らによるNPO法人血液疾患臨床研究サポートセンターC-SHOTは若手対象の「土曜勉強会」を開催するなど若手対象の教育的・学際的研究会が常時活発に開催されている。

(5) 専門医の取得等

学会等名	日本血液学会
資格名	血液専門医
資格要件	(1)日本内科学会認定医または日本小児科学会専門医(認定医) (2)卒後6年以上の臨床研修のうち3年以上学会が認定した研修施設において臨床血液学の研修を行った者 (3)申請時に継続して3年以上会員である者 (4)臨床血液学に関係した内容で、筆頭者として学会発表または論文が2つ以上ある者 (5) 「診療実績記録」 (6)学会研修施設における研修記録を提出
学会の連携等の概要：特になし	
学会等名	日本臨床腫瘍学会
資格名	がん薬物療法専門医
資格要件	(1)2年以上継続して学会員である

- | | |
|--|---|
| | <p>(2)5年以上がん治療に関する研究活動を行っておりがん治療に関する十分な業績がある</p> <p>(3)研修認定施設において所定の研修カリキュラムに従い、2年以上臨床研究を行いこれを修了した者。</p> <p>(4)各科の基本となる学会の認定医あるいは専門医の資格を有していること。</p> <p>(5)当該年度までの会費を納めていること。</p> <p>(6)症例実績報告書（少なくとも3臓器・領域より総数30例）</p> |
|--|---|

学会の連携等の概要：特になし